

■平成27年度

農林部

課室所名	課室所長名	組織の使命 (組織のありたい姿)	プロモーション活動の取組 (市の魅力や価値の創造・発信のための取組)	経営資源		
				職員数(人)	うち正職員	うち非常勤職員
農業振興課	柿崎 浩之	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市農業の持続的発展に資するため、多角的な農業振興を図る。 ・重点振興作物等の作付拡大を推進し複合化を図り、農家所得の向上に繋げる。 ・集落型農業法人や認定農業者、若手農業者等の意欲的な担い手を育成し、活力ある農業経営を目指す。 ・経営所得安定対策を実施し水田フル活用に繋げ、農家所得の安定化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国及び県を通じた各種事業に関わる情報をリアルタイムで農家等に発信すると共に、市の単独情報についても市報やHP等を通じて迅速かつわかりやすい伝え方に努める。 ・県及びJA等と連携を密にしながら農家向けの説明会や座談会を適時開催し、関係事業内容の周知徹底を図る。 	36	26	10
農林整備課	柿崎 政人	<ul style="list-style-type: none"> ■農林業の健全な発展と活力ある農山村づくりの推進 ・生産性の高い農業生産基盤の構築 ・農地・森林がもつ多面的な機能が適切に発揮されるよう支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区、森林組合、JAなどの関係各団体広報誌を活用し、協働で広報活動を行う。 ・多面的機能支払交付金制度を活用する組織数を増やし、個別にその必要性を説明し、ひいては地域コミュニティの活性化を促進する。 	13	11	2
農業ブランド創造課	高階 知夫	横手ブランドの確立と6次産業化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全市民参加型プロジェクト「チームプラスY」、「食と農からのまちづくり」H.P、かまくらFM、市報、雑誌を活用した食育、地産地消、地域ブランドイメージづくりの展開。 ・6次産業化研修会や旬野菜の食べ方講習会等の開催による関係者の技術・意識向上。 	7	6	1
実験農場	山初 仁志	<ul style="list-style-type: none"> ・『立地創造農業』(条件不利地の実態を受入れ、新たな可能性を活かす農業)により地域農産物の多様化を推進し、生産者の所得向上につなげる。 ・生産者から消費者までそれぞれの目的に適応した情報や技術を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に適した農産物を見出すため幅広い品目を試験栽培し検証を行う。 ・栽培技術や野菜の機能性などについて積極的に情報を発信する。 	9	8	1